

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RMD7-165-79-2	2024通年	医学教育部(25800)	1, 2, 3, 4	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
健康長寿代謝制御特論II【Special Lecture II on CMHA】(G2)			三浦 恭子, 岩本 和也, 山縣 和也, 宋 文杰, 荒木 喜美, 菰原 義弘, 門松 毅, 盧 溪, 森嶋 達也, 中條 岳志, 藤巻 慎, 仁田 暁大, 河村 佳見		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力……35% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力……35% 3.グローバルな視野と行動力……20% 4.地域社会を牽引するリーダー力……10%					
授業の形態	講義・演習				
授業の方法	本授業は単年度もしくは複数年度での受講が可能です。Zoomと対面授業です。各回の担当者が、自己紹介、PhD取得後のプランの紹介後、自身の研究について過去の関連文献も含めて発表し、皆でディスカッションします。発表者以外の人は各回担当者の発表に関するレポートを提出します。発表者はその回のレポートを提出する必要はありません。発表とレポートで成績を評価します。尚、参加人数によって、授業内容および回数に変更が入る可能性があります。日程変更や文献の指定など、本授業の連絡はMoodleを介して行います。本授業の登録者は、Moodleからメールが届くように、必ずメールアドレスを設定するようにお願いします。				
授業の目的	老化の生物学および種々の老化関連疾患の発症メカニズム、公衆衛生、疫学、研究ツールなどに関する、過去の論文を含む自身の研究を紹介・議論することにより、各々の研究への理解を深め、プレゼンテーションの手法について実践的習得を行うことを目的とします。				
学修目標	【A水準】 研究内容および過去の関連論文をよく理解しており、担当時のパワーポイントでの発表と、質疑応答・レポートの内容がとてとても優れている 【C水準】 研究内容および過去の関連論文を理解しており、パワーポイントでの発表を行い、質疑応答に参加し・レポートを提出している。				
授業の概要	老化の生物学および種々の老化関連疾患の発症メカニズム、公衆衛生、疫学、研究ツールなどに関する過去の関連論文を含めて、自身の研究についてパワーポイントを用いた発表を行うことで、実践的習得を行います。発表・ディスカッション・レポート作成によって、内容を習得します。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		チュートリアル1 (発表方法について)	10/11(金) 6時限(18:30~20:00) 老化・健康長寿学講座 三浦 恭子 イントロダクション(発表方法について)参加者が自己紹介を行った後に、パワーポイントでの発表方法について学びます。 本授業は2コマ扱いとなります。終了時間が遅くなるのでご注意ください。		
2		チュートリアル2 (発表)	10/18(金) 6時限(18:30~20:00) 細胞病理学講座 菰原 義弘 担当者の研究に関する発表・ディスカッション・レポート作成によって、内容を習得します。		
3		チュートリアル3 (発表)	10/25(金) 6時限(18:30~20:00) 分子脳科学講座 岩本 和也 担当者の研究に関する発表・ディスカッション・レポート作成によって、内容を習得します。		
4		チュートリアル4 (発表)	11/1(金) 6時限(18:30~20:00) 分子遺伝学講座 門松 毅 担当者の研究に関する発表・ディスカッション・レポート作成によって、内容を習得します。		
5		チュートリアル5 (発表)	11/8(金) 6時限(18:30~20:00) 分子薬理学講座 仁田 暁大 担当者の研究に関する発表・ディスカッション・レポート作成によって、内容を習得します。		
6		チュートリアル6 (発表)	11/15(金) 6時限(18:30~20:00) 幹細胞ストレス分野 森嶋 達也 担当者の研究に関する発表・ディスカッション・レポート作成によって、内容を習得します。		
7		チュートリアル7 (発表)	11/22(金) 6時限(18:30~20:00) 分子生理学講座 中條 岳志 担当者の研究に関する発表・ディスカッション・レポート作成によって、内容を習得します。		
8		チュートリアル8 (発表)	11/29(金) 6時限(18:30~20:00) 知覚生理学講座 宋 文杰 担当者の研究に関する発表・ディスカッション・レポート作成によって、内容を習得します。		
9		チュートリアル9 (発表)	12/6(金) 6時限(18:30~20:00) 病態生化学講座 山縣 和也 担当者の研究に関する発表・ディスカッション・レポート作成によって、内容を習得します。		

10		チュートリアル10 (発表)	12/13(金) 6時限(18:30~20:00) 筋発生再生分野 藤巻 慎 担当者の研究に関する発表・ディスカッション・レポート 作成によって、内容を習得します。
11		チュートリアル11 (発表)	12/20(金) 6時限(18:30~20:00) 疾患モデル分野 荒木 喜美 担当者の研究に関する発表・ディスカッション・レポート 作成によって、内容を習得します。
12		チュートリアル12 (発表)	1/10(金) 6時限(18:30~20:00) 公衆衛生学講座 盧 溪 担当者の研究に関する発表・ディスカッション・レポート 作成によって、内容を習得します。
13		チュートリアル13 (発表)	1/17(金) 6時限(18:30~) 老化・健康長寿学講座 河村佳 見 担当者の研究に関する発表・ディスカッション・レポート 作成によって、内容を習得します。  本授業は2コマ扱いとなります。終了時間が遅くなるので ご注意ください。
14		-----	-----
15		-----	-----
授業外学修時間の目安		本科目は、90時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は30時間分(2h×15コマ)となるため、60時間分相 当の事前・事後学修(課題等含む)が、授業の理解を深めるために必要となる。	
テキスト		特に指定しない	
参考文献		各回の担当教員がMoodle上に掲載	
履修条件		本授業に関連する基礎的な知識を有すること。	
評価方法・基準		単年度で、もしくは卒業研究を完了するまでの複数年度で、10回以上参加してください。最低1回パワーポイントを使 って発表して、他の授業の回については、発表者の研究内容やプレゼンテーションについて、Moodleで一ヶ月以内 にレポートを提出してください(9回以上)。自分が発表する回はレポートを出す必要はありません。レポートの提出 が出席を兼ねます。期末試験はありません。  重要:2回分として記載されている授業は、終了時間が長くなる可能性があります、1回の参加/レポート提出が2回 分としてカウントされます。	
使用言語		「英語」による授業	
教科書・資料の言語		「英語」のテキスト	
実務経験を 活かした授業		非該当	